

「競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発 (GENIAC)」

次回公募に関する検討状況について

経済産業省 商務情報政策局

経済産業省及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) では、生成 AI の開発を加速させる観点から、競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発に係る公募を、これまで 2023 年 1 月、2024 年 2 月、7 月の 3 度実施してきたところ、国際的に生成 AI の開発競争が激しくなっている現状を踏まえ、4 回目の公募を 2025 年 3 月中旬から 5 月上旬まで実施する予定です。

提案内容の準備時間を確保する観点から、現時点で検討中の内容を以下の通りお知らせいたします。ただし、実際の公募内容は変更される可能性がありますので、詳細については、今後公表される研究開発計画や NEDO の公募要領等をご確認ください。

<公募名>

「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／競争力ある生成 AI 基盤モデルの開発 (GENIAC)」に係る公募について

<背景>

生成 AI は、従来の AI では不可能だった、様々な創造的な作業を人間に代わって行える可能性があることから、産業活動・国民生活に大きなインパクトを与えると考えられており、ポスト 5G 時代のキラーアプリケーションとしても位置づけられる。

2023 年 5 月に AI 戦略会議で取りまとめられた「AI に関する暫定的な論点整理」においては、「いま生成 AI によって世界の変革がもたらされようとしている中、可及的速やかに生成 AI に関する基盤的な研究力・開発力を国内に醸成することが重要」とされており、政府として取組の一層の加速が求められている。加えて、「生成 AI の技術革新のスピードや予見可能性の低さを踏まえると、従来の政府による開発促進策では対応が難しい」、「市場原理を最大限尊重し、迅速、柔軟かつ集約的にプレイヤーの取組を加速するような支援を政府としても行っていくことが期待される」と明記されているところ。

その生成 AI の鍵を握るのは、基盤モデル開発である。基盤モデルは、生成 AI を活用した様々なサービスを支える個別モデルを生み出すコアの技術基盤であり、基盤モデルの開発力の有無は、我が国における生成 AI の利用可能性や創出するイノベーションの幅を決し得る。このため、日本として基盤モデルの持続的な開発力を強化していく必要があり、それに向けて、基盤モデルの開発力の底上げを図りつつ、企業等の創意工夫を促すことが重要である。

他方、生成 AI は黎明期であり、あらかじめ開発すべき基盤モデルや開発体制を特定することは困難でもある。そのため、本テーマでは開発アイデアを広く募集した上で、支援対象を絞り込む形で基盤モデルの開発に取り組むこととする。

なお、本テーマの実施にあたっては、基盤モデル開発の加速にあたって重要である、知見の共有や客観的な性能評価の実施、良質のデータを確保する観点から、データホルダーとのマッチング支援、グローバルテック企業との連携支援やコミュニティイベントの開催、開発される基盤モデルの性能評価等を実施する者（開発加速支援者）を別途選定することとする。

<開発対象>

本事業で開発対象となるのは、以下の基盤モデル開発。提案者にて、提案時に開発内容を提案すること。

- フルスクラッチで開発するモデル
- 既存の基盤モデル（国内で開発された基盤モデルに限らない）を事前追加学習するモデル
- 国内で開発された基盤モデルをファインチューニングするモデル

※上記より、提案者にて提案時に開発内容を提案すること。

※「国内で開発された基盤モデル」とは、日本国内で登記され、かつ、日本国内に開発拠点を有する企業・大学等が開発した基盤モデルのことを指す。

※なお、本基盤モデル開発に併せて、社会実装を見据え、当該基盤モデルを元にした個別モデルやアプリケーションの開発を行うことは妨げない。

<実施目標>

開発した生成 AI の基盤モデルが国際的に比較して十分な優位性があることを検証

※提案者にて、ベンチマークや、「機械翻訳の最先端レベルに対してN%以上の性能を達成できる」といった目標を提案時に設定すること。

<応募条件>

- 本基盤モデル開発においては、基盤モデルの評価で利用するベンチマークのデータセットは利用しないこと。この他、利用できないデータセットについて、経済産業省、NEDO、開発加速支援者と調整の上、指示に従うこと。
- 定期的に性能評価を実施し、経済産業省、NEDO、開発加速支援者に評価結果を提出することを条件とする。基盤モデルについては、既存のベンチマークもしくは基盤モデル開発者等が策定したベンチマークで適正に評価すること。基盤モデル開発者等が策定するベンチマークの詳細については、経済産業省、NEDO、開発加速支援者と調整の上、指示に従うこと。研究開発期間終了後に、既存のベンチマークもしくは基盤モデル開発者等が策定したベンチマークで評価を実施した結果を公表することを条件とする。
- 開発加速支援者が運営するコミュニティに積極的に参加すること。
- データセットの生成や事前追加学習等にあたって使用する外部の AI モデルについて、経済産業省、NEDO、開発加速支援者から情報提供の依頼があった場合には、それに応じること。また、使用する外部の AI モデルについては、必要に応じて、経済産業省、NEDO、開発加速支援者と調整の上、その指示に従うこととする。
- 経済産業省から開発するモデル等について情報提供の依頼があった場合には、最大限協力すること。
- 開発を進めるにあたっての詳細は、必要に応じて、経済産業省、NEDO、開発加速支援者と調整の上、決定することとする。

<事業期間>

研究開発開始時点から原則6ヶ月以内

<助成率>

本事業においては、基盤モデルの開発とその評価に必要な計算リソースの提供という形で支援を行うこととし、計算リソースの利用料と、データ整備に必要な費用（ただし外注費に限る）のみを助成対象とする。

中小企業等経営強化法に基づく特定事業者と学術機関等については、助成率2/3とし、これに該当しない企業については助成率1/2とする。なお、計算リソースの提供事業者・利用時間・利用量等については、経済産業省・別途募集する開発加速支援者と調整の上、指示に従うことを条件とする。

<計算リソースの利用について>

本事業で助成対象となる計算リソース利用料は、GPU リソースと GPU リソース以外の計算リソースの費用が対象となる。提案時に、基盤モデル開発に必要な計算リソースの費用を計算リソース提供事業者と調整の上、計算リソースの種類、利用期間、費用等を申請書に記載し提出すること。なお、当該計算リソースの利用料が為替変動の影響を受けるものである場合、将来の為替変動を考慮した金額で申請することを認める（ただし、その際の為替想定を明記すること）。

この際の計算リソース利用料には、①基盤モデル開発（基盤モデルとは、フルスクラッチで開発したモデル、既存モデル（国内で開発されたものに限らない）を事前追加学習したモデル、国内で開発された基盤モデルをファインチューニングしたモデルを指し、その開発に必要なデータ整備を含む）、②基盤モデル開発に不可欠なモデルの外部提供に必要な環境構築（RAG や Agent 等のツール構築、サービス提供に必要なインターフェースの開発）、③基盤モデル開発に不可欠なモデルの外部提供（ただし本事業期間は無償での提供に限る）の実証に必要な推論基盤に係る計算リソースの利用料が含まれる（なお、助成対象となる経費として、データ整備に必要な費用（ただし外注費に限る）を合わせて計上することも可能）。

本事業への申請にあたって、申請内容に上記①を含むことを必須とする。その上で、①から③の内容を、複数の事業者が共同で実施することを認める。

③を実施する場合には、社会実装への道筋がより明らかなものとして評価する。③を実施しない場合には、社会実装に向けた計画に加えて、これまでの国内外の動向を踏まえた、提案内容の新規性や目標とする技術レベル・性能により重点を置いて審査する。

計算リソースは、提案者が計算リソース提供事業者と個別に調整し直接確保すること。ただし、学術機関等（国公立研究機関、国立大学法人等及びこれらに準ずる機関）から計算リソースを調達することはできない。審査においては、計算リソース調達が具体的に計画できているかも審査の対象となるため、計算リソース提供者と調整の上、使用する計算リソース量や利用期間、価格、計算リソース提供者との調整状況等について、できる限り具体的に申請書に記載の上、提出が必要。

研究開発期間については、NEDO の交付決定日（2025 年 8 月 1 日を想定）後から 6 ヶ月の予定。助成対象となる経費は、交付決定後に契約を締結したものに限るが、研究開発期間（2025 年 8 月上旬～2026 年 2 月上旬を想定）の前後を含めて計算リソースを確保することは妨げない。ただしその前後の計算リソースの費用については、助成の対象外となる。該当する形で計算リソース確保を検討する場合は、NEDO の課題設定型産業技術開発費助成事業事務処理マニュアルも参照すること。

<連絡先>

商務情報政策局 情報産業課 情報処理基盤産業室
担当：杉之尾、近藤、古賀

メールアドレス：bz1-geniac★meti.go.jp

※「★」を「@」に替えて送付してください。

※連絡の際は事業者名、担当者名、連絡先（電話番号・メールアドレス）を記載してください。